

この生衛ジャーナルは宝くじの普及宣伝事業として作成されたものです

# 生衛ジャーナル

編集・発行 財団法人 全国生活衛生営業指導センター

年間テーマ

## 「元気発進、地域から発信！」

- 特集 震災からの再起
- 時の話題 コミレス、地域に一役
- センターにゆうす 国民生活金融公庫が予算説明会を開催

2006

3



# C O N T E N T S

巻頭言	1
<b>特集 震災からの再起</b>	
総論	2
お店探訪	3～9
時の話題 コミレス、地域に一役	10
センターにゆうす	
国民生活金融公庫が予算説明会を開催	11
厚生労働省健康局から	12～13
景気動向調査の概要	14～15
消費生活相談の現場から	16～17
特相員だより	18
せいえい短信	19
センターをたずねて	20～21
ほっとブレイク	
連載「ぶらり旅・きまま旅」〈6〉	22
最近フード事情	23
編集室から	24



表紙：四ッ谷（東京）

## 原稿・情報をお寄せください

### □お店探訪（3～9ページ）

ユニークな経営、集客、地域活動などを行っている生衛業関係のお店をお知らせください。自薦・他薦を問いません。

### □センターにゆうす（11ページ）

都道府県の各生活衛生営業指導センターで計画中、あるいは実施した特色ある企画や活動など。

### □特相員だより（18ページ）

生衛業の開店・融資・経営などの相談にまつわる成功・失敗談やエピソードなど。

### □せいえい短信（19ページ）

中央・地方、団体・個人を問わず、生衛業に関する情報・話題をお寄せください。

### □その他、ご意見や提言

### □投稿方法

郵送、Fax、E-mailで。郵便番号、住所、氏名（匿名希望の場合はその旨を）、電話番号などの連絡先を明記してください。

### □送り先

〒111-0051 東京都台東区蔵前3-15-1 エスピービル 菅原印刷株式会社 生衛ジャーナル制作部

Tel: 03-5687-2211(代) Fax: 03-5687-2310 E-mail: journal@sugawara-p.co.jp



## 21世紀型 浴場作りに向けて

司馬遷の「史記」には、秦の始皇帝の命で、不老不死の仙薬を求め、徐福という人物が東海にある蓬萊山へ船出したとする記述があります。今から2200年も前の話です。古来より「老いず、死なず」は人間の願望であったことを物語るものです。

しかし、「人は老いて、死していく」ものです。逃れることのできない宿命です。宿命は宿命として甘受するとしても、一度かぎりの人生であり、唯一つの生命でありますから、可能なかぎり老いを防ぎ、健康長寿を保ちたいものです。このことは、人生において極めて意義のあることと思います。

国も21世紀の大きな目標として、健康長寿社会の実現に向けて様々な取り組みをはじめていきます。

全国の各生活衛生業もそれぞれの業態に応じて、その実現を図っているところです。私共の公衆浴場業、いわゆる銭湯においても試行錯誤を繰り返しながら健康長寿社会実現に向けて歩みはじめております。若干、実例をご紹介しますながら、その目指すものをお伝えすることができればと思います。

生活習慣病を予防し、生涯現役であり続けるためにまず取り組みはじめたのが、健康推進入浴事業であります。人に爽快感を与え、癒しに有効なマイナスイオンや脳内におけるアルファ波の発生量と持続性は、銭湯の広い空間によって、家庭風呂に比して効果の大きいことは、つとに知られているところです。

ストレスを防止し、健康に有益な入浴も一歩

間違えば有害なものとなってしまいます。そのためにも適切な入浴方法を守ることが重要となります。その周知徹底のPRを進めております。その一つとして東京都公衆浴場業生活衛生同業組合の広報誌「1010」<sup>せんとく</sup>での宣伝があります。

さらに一歩進めて、対面による入浴方法や血圧測定、体脂肪測定などを通じての健康増進策としてのマンパワーの養成が重要であります。平成17年度より健康入浴推進員の養成事業に取り組み、各地の組合に一期生が誕生しました。18年度も引き続き推進してまいります。

加えて銭湯を利用して、優しい、柔らかな筋力トレーニングで転倒を防止し、カラオケや落語会を催して、引きこもりがちな高齢者の社会参加を促進したいと考えております。

従来、地域のふれあいの場として広く活用されていた経緯に着目し、都市化によるコミュニティー社会の欠落を補完する場として積極的利用が図られたら、と願っております。

一昨年改正された「公衆浴場確保に関する特別措置法」では、地域住民相互の交流促進を図るよう求められており、そのことと軌を一にするもので、業者の格段の努力が要望されるものです。東京都江戸川区では祖父母世代へのお背中流し入浴にその例を見ることができます。

いずれにしましても、安全性、ふれあい、快適性の確立を目指し、地域住民の方々に愛される「21世紀型浴場」を形成することが喫緊であり、その実現に向けて邁進したいと思います。



# 特集 震災からの再起



## 初期行動は顧客の安全を念頭に リスクに向かうチャレンジ精神で 再建計画は将来も視野に

日本大学経済学部講師 池田 光男

生活衛生関係営業の業者は、阪神・淡路大震災、新潟県中越大地震などの余りに大きい被害状況の報道等により、震災に対する危機管理や防災に対する意識が高まってきている。そこで、今号の特集では震災後、再興を遂げた3事例を取り上げている。

生活衛生関係営業の場合、多くの人員を収容する施設や、顧客の大事な衣類を預かったり、火と油を使うなどの業種があり、災害に対する危機管理意識を常に持つことが要求される。

まず、災害に直面したときに経営者が起こす初動は、自分自身の身の安全を守り、顧客第一主義を貫くことである。ホテル・旅館業なら、安全を信頼して宿泊してくれている宿泊客の人命尊重である。事例の旅館「和泉屋」では、余震の続く中、スタッフたちが、館内に散在している156人の宿泊客をくまなく探し出し、全員の無事を確認している。

「甲陽ランドリー」では、預かっている品物を、必死になって瓦礫の中から探し出している。喫茶店「珈琲フッコ」の初動は、営業規模に見合った、しかも自分の経営哲学が表現できる店舗探しである。

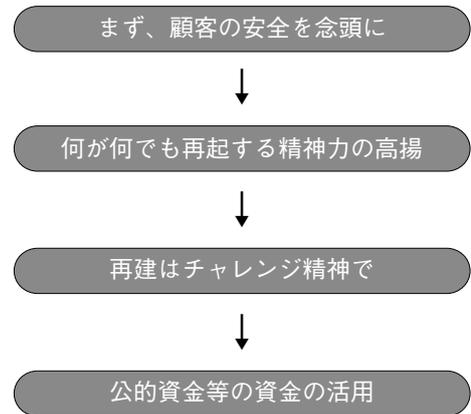
2番目は、復興に向けての精神力の高揚である。壊滅状態を見た途端、もう駄目だと落胆してしまうが、事例の3店も例外ではない。非常時にこそ大事なものは、創業時と同じように、リスクに立ち向かうチャレンジ精神だ。どん底からの再起には、とにかく、立ち上がるよりほかに手段はない。

3番目は、再建計画は当面の足元を軸にしがちだが、未来像を視野に入れるべきだ。あせると、足元を見抜かれ痛手を被る。

4番目は復旧のための資金調達である。公的金融機関の災害特別融資は金利等特別配慮がされており、資金調達に活用すべきである。

一方、災害地において、生活衛生関係営業の業者による地域再興へのボランティア活動が、各被災地で行われてきている。例えば公衆浴場や温泉旅館の入浴サービス、仮設住宅への理容・美容の出張サービス、県外の飲食業者の被災地での飲食の無料提供などである。

不幸にして震災に直面した際には、被災者は自店の復興に全力投球することが必要不可欠であり、一方、被災を免れた業者は、生活衛生関係営業の特性を生かして、地域再興に向けボランティア活動を積極的に行うことが望ましい。両者とも、生活衛生関係営業の業者として、地域住民との密着度を一層高めることになり、さらに地域再興に大きく貢献することになる。



# 全スタッフで再開誓う

## 旅館「和泉屋」

住所：新潟県長岡市蓬平町1508-2 女将：田崎 久子さん 電話：0258・23・2231  
定休日：なし

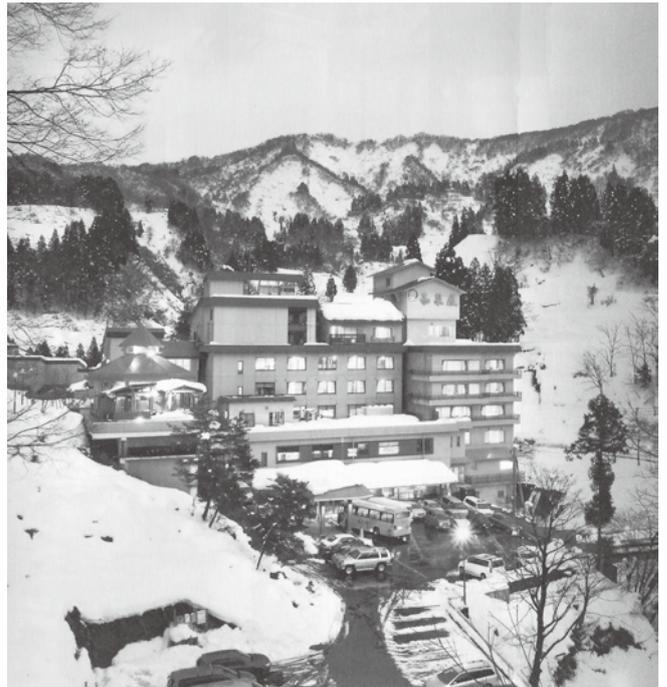
### お店探訪

平成16年10月23日午後5時56分、新潟県中越地方を震源とする震度6強の地震が発生、その後も断続的に震度6強を含む激しい余震が同地方を襲った。その時、蓬平温泉の老舗旅館「和泉屋」の常務、金内智子は調理場に立っていた。土曜日とあって宿泊客は満杯に近い156人。団体さんの宴会が始まる直前で、金内はいつものように板場さんらスタッフを前に「今日もよろしく」と声をかけた。その声が終わらないうちに、晴れているはずの空に2、3度、稲光が走るのを見た——。（文中敬称略）

直後、ドーンと突き上げるような揺れが来た。どんなドカ雪でも持ちこたえる厚さをもつ、ロビー吹き抜けの強化ガラスが音をたてて落下、轟音とともに壁や天井がはがれ落ち、空調施設や断熱材が降ってきた。

このとき、総勢56人のスタッフのうち42人がそれぞれの持ち場についていた。金内は、双子の姉妹で女将の田崎久子とともにフロントに立ち、宿泊名簿をたよりにスタッフ全員に命じた。「一刻も早く、宿泊客156人の安否を確かめよう」。

スタッフは余震の続くなか、2階～6階の全部屋、大広間のほか、三つの大浴場と露天風呂に散っていった。午後6時21分、「全員の確認が取れた」との報告を受けた。ただ、宿泊客の1人が落下物で頭を切り、出血がひどかつ



雪景色のなか、暮れなずむ山間に灯がこぼれる「和泉屋」



カウンターに立つ女将の田崎久子さん（右）と常務の金内智子さん

た。金内は気丈にも止血の応急措置をほどこした。ほかに2人の客が軽いけがを負っていた。

周辺地域はどこも交通が途絶していた。金内は顔見知りの消防署員から「他の地区で生き埋め被害が出ている」と、蓬平地区の救援活動が後回しになることを知らされた。近くにある太田地区コミュニティーセンターや小中学校の体育館は避難の地元民であふ

れかえていた。

金内らは旅館前に駐車していた観光バス1台と自社マイクロバスに宿泊客を分散収容し、ス

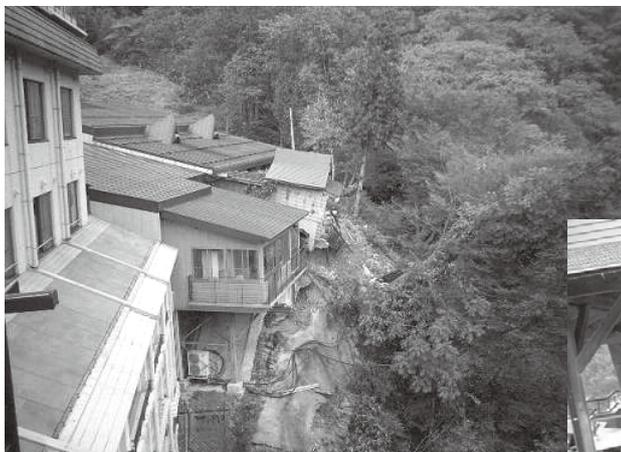
スタッフたちは自家用車で一夜を明かした。

翌日、どのお客様がどのバスに、旅館スタッフがどの乗用車にいるかをフロントチーフを中心に2～3人の社員が手分けして確認、炊き出しを配ったりした。「スタッフの中には被害がひどい山古志から来ている人もおり、まだ家族の安否が取れないのに旅館にとどまって確認作業を続けてくれました」と金内は当時を振り返る。救援物資を運んできた自衛隊ヘリでけがをした宿泊客3人が搬送されていた。さらに宿泊客のうち70人が迂回路を通り、1時間歩いて山を降りた。残る86人は高齢者や県外の人たちだった。「みんなを見捨てるようで…」と残留を言い張る常連客を金内や田崎女将は説得し、山を降りてもらった。お互い、涙の別れだった。

やがて2泊3日の不安と焦燥のときが過ぎ、宿泊客もスタッフも、それぞれの落ち着き先にもどっていった。

「和泉屋」は明治2年の創業で、田崎久子で6代目。昔から「長岡の奥座敷」として親しまれた旅館。金内や田崎、そして金内の夫で専務の茂は、再起に逡巡はなかった。

源泉を加熱するボイラーなどの給湯施設、空調、照明、保冷施設などをコントロールする電子機器類をストップさせて被害拡大を防ぐ一方、建設、土木業者と一緒に被害状況を調査。被害は時間を追って広がっていった。軽量鉄骨で増築した「見晴らし館」の基礎が



④地震で施設の一部が崩落した露天風呂（写真右端）  
⑤屋根、基礎部分、浴槽が破壊された露天風呂



15センチも左右にずれていた。露天風呂も一部、崖下に崩落していた。だが、幸いなことに、源泉は無傷であることが確認された。こうした被害状況をメインバンクに逐一報告。このことがあとあと、県と市の災害特別融資、金融機関からのスムーズな融資を受ける背景となった。

とはいえ、旅館再興の道は平坦ではなかった。田崎久子、金内智子の双子姉妹と専務の金内茂の間にけんか腰の意見の衝突もあった。2人はスタッフを雇用したままでの旅館再開を主張、これに対して金内専務は「いったん解雇しないと再建は無理だ」と拒否。しっかりしたデータを専務から示され、2人は折れた。

営業再開は、平成17年8月1日、「長岡まつり」の初日と決まった。「常連客のみなさんやメインバンクの方々から『バックアップするから』と励まされて、スケジュール的には厳しいのに、つい口約束してしまっただけ…」と金内は苦笑する。もちろん、この口約束は守られたのだが。

目標が決まって、スタッフたちは“前社員”という身分のまま、ボランティアに近い形で連絡網をつくり、シフトを組んで再開の準備を整えた。震災でも無事だった旅館のパソコンの顧客データを使ってチラシ郵送やEメールで新装オープンをPRした。「こんなに皆様から必要とされている旅館だったことを、震災で初めて気づかされました」と常務。

彼女は長岡市復興推進室から委嘱されて「地域古里再生委員」の1人として、同じく震災にあった神戸など各地に講演に出かけるなど、「ご恩返しのつもり」で活動をしている。

とくに心を痛めているのは、今も長岡市内などで仮設住宅暮らしを余儀なくされているお年寄りたちのこと。「孤独死のような犠牲者が出ないように、今後とも訴えていきたい」と金内は結んだ。

# 客が再興願い募金箱

## 喫茶店「珈琲フッコ」

住所：福岡市中央区大名1-6-13 キキプレイス（ビル）2階 店主：市原 道生さん

電話：092・714・5837 営業時間 9：00～24：00 定休日：不定期

### お店探訪

福岡市中央区大名は市内で最もにぎわいのある天神の西に隣接、ファッションや飲食の店がひしめく街だ。この一角の2階建て赤レンガビルの階段を上ると、雑踏からちょっと距離を置いた感じの“隠れ家”のような喫茶店があり、店内にコーヒーのいい香りと心地よいジャズが流れている。昨年3月20日の福岡県西方沖地震で店を失って、新店舗で再起した「珈琲フッコ」である。この1年間は常連客の応援のありがたさをかみしめる毎日だった。（文中敬称略）



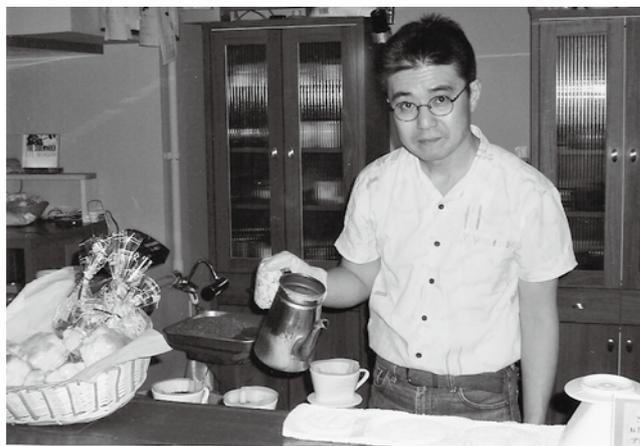
「珈琲フッコ」のテーブル席。旧店の看板（奥左手）は新店舗の店内のシンボルに

「そろそろ四半世紀だね」。そんな会話が店内で交わされていた矢先の災難だった。

天災は忘れた頃にやってくるというが、過去に大きな震災の記録がない福岡市では「まさか」だった。中央区と東区で震度6弱。市内で死者1、重傷163、軽傷875人、建物は全壊141を含む5,220棟の被害が出た。

旧「珈琲フッコ」も敷地に地割れができ、柱が傾いて引き戸が動かなくなった。カップ、コーヒー豆、瓶、CD、本が床に散乱。足の踏み場がない惨状に、店主の市原道生（51）は一見してこの店はもうおしまいだと感じ、頭の中が真っ白になったという。間もなく市の「立ち入り危険」の紙が張られた。

しかし直後から常連客の励ましのメール・電話、支援が相次いだ。苦境の中、地獄で仏に会ったような人情の温かみ。ふだん「楽天家



コーヒーをいれるさい熱湯の温度にも細心の気配りをする市原さん

で頭の切り替えが早い」と自認していた市原は、3日目に「皆さんの応援に応じて『珈琲フッコ』を再興しなければ」と決意した。

同店は昭和55年、25歳だった市原が私大職員を辞め、同じ年頃の友だちと共同で開店した。市原によれば「これで稼ごうという気持ちはなく、喫茶店の雰囲気好きな者同士、自分



福岡県西方沖地震で柱（左）が傾いた築50年の旧店舗

たちの考えるスタイルの店をつくってみよう。だめならすぐやめる」と、多分に趣味の延長でスタートした。

店舗は木造モルタル2階建て住宅を改造した建物の半分。わずか13㎡余りの店内を合板や壁紙で内装し、カウンター席7つの店を手づくりした。その代わりに、コーヒーの味と居心地には特にこだわることにした。

焙煎したコーヒー豆は、時間とともに味と香りを失う。そこで神戸の輸入元から新鮮な豆を生で取り寄せ自家焙煎。最近では仕入先を東京・横浜にも広げ、ストレート系9種、ブランド系5種を基本にそのアレンジも提供し、味と香りで固定客を集めていた。

しかもなお、市原は「喫茶店はうまいコーヒーを出して当たり前。それだけで自慢にならない。日本流の喫茶店にはお客様が気分よく時間を過ごせる雰囲気が必要」と考えた。

仕事を離れた心身の癒し、仲間同士のおしゃべり、読書、カウンター越しの会話、単なる時間つぶしなど来店目的はそれぞれでも、みんながくつろげる居心地のよさを重視し、ジャズを中心に500枚程のCDをそろえ、窮屈なカウンターは6席に減らした。築50年の老朽建物だが木の温もりのある店舗は、ビル街に変貌した大名地区の一種“アンティークな店”として目を引いていた。

こうして多い日には70人もお客が入り、満席の時は立ち飲みでいいという客も来た。また休日に親しい常連客とキャンプや山歩きを

する関係も生まれていた。

一方、再興のための新店舗探しは難航した。大名地区のテナント料は25年前に比べると何倍にも跳ね上がり、古い手ごろな物件は地震の被害を受けていた。ところが10日余り過ぎ疲労感が高まったころ、市街地デベロッパー企業の常連客から「会社が所有するビルに間もなく空きが出る。社長と会って見ないか」という話があった。現在の店舗である。

社長はテナントに喫茶店が欲しいと思っていたし、市原の喫茶店経営哲学に共感した。家賃は旧店の6万円の4倍になるが、2割ほど値引きしてくれた価格である。市原は物件のロケーションに魅力を感じて、何とかやっていると即決した。社長は内装の手配や事業計画づくりでも応援してくれた。

ほかにも常連客の声かけで「フッコ復興資金」の募金箱を置いてくれたカフェも2店あり、義援金約10万円が届けられた。

店舗は50㎡に広がり、きれいになった。でも店のシステムはできるだけ今までのやり方を踏襲した。席数は欲張らず、カウンター席7つと2人席テーブル7個にし、空間を広く取った。無事だった旧店の看板と古時計が引き続き常連客の気持ちを和ませている。

昼間はサラリーマンやOL、学生が中心。最近、午後はおしゃべりを楽しむ年配の女性グループや子ども連れの若い母親もめだつ。新しいリピーターも増えた。宵が過ぎ、9時、10時と夜が更けても客足は絶えない。

災難と人々の応援を通して市原は、商売とは単なる売り手、買い手の立場を超えた人間関係だと再認識した。そして「珈琲フッコ」のやり方が認められていたと確信して、これまで以上のうまいコーヒーと居心地のよさを提供していかなければと考えている。

今度の復興では市や県から震災特別融資を受け730万円の借金ができた。返済期間は10年。中1の娘と小4の息子が自立してくれるであろう時期までとほぼ重なる。現在の目標は、とりあえずその10年を頑張ることだ。

## 「コミレス」、地域に一役

によると、現在、コミレスは全国に30以

洗い場などで研修中。

▽はづちを（石川県加賀市）

山代温泉の中心地にあり、旅館などに働く保護者を支援し、

食事が不規則になりがちな子どもたちや独り暮らしの高齢者のためにバランスのとれた食事を提供し、気軽に立ち寄れる憩いの場としても機能している。

▽PIKO・POKO（福岡県北九州市）

店（喫茶・レストラン）のコンセプトは①子連

れのために

気軽に外食

できないお

父さん、お

母さんの息

抜き場を提供②食事を通して

親同士が情報交換できる場所づくり③地域・行政・親・子育て

ネットワークをつなげる橋渡しの役割・環境づくり。

倉庫を改造した店内の半分のス

ペースに滑り台やブランコで遊ぶ子どもたちの声が響く中

で、その様子を眺めながら親子が食事を楽しむ。

◇

コミレスのはじまりは、東京都国分寺市に1982年に誕生

した「でめてる」。公害や職の安全をめぐる市民運動に取り

組む人々が中心となって「女性が子育てしながら働ける場」として開業した。

子育て支援型のコミレスの常連客だという母親（41）は「こ

こなら他のお母さんたちと仲良くなれ、みんな同じ悩みを持つ

ているとわかって、ほっとする」と話す。

また、ニート対策に取り組む

コミレスで働くスタッフの一人

（29）は「社会への恐怖感があるので、いきなりアルバイトや

就職というのは大変。こういう中間的な仕事場があるのは助かる」と、その「助走」的な機能を評価している。

注目を集めるコミレスだが、課題もある。不安定な経営をどう克服するかだ。コミレスのほとんどは「赤字の時もあり、ビジネスとしてはまだ独り立ちしていない」のが現状だ。世古代表理事は「コミレス開業のさいは地域の課題解決へ明確なコンセプトを持ち、リスクを負っても継続していく覚悟が必要」とアドバイスしている。



「コミュニティ・レストラン（コミレス）」が今、全国各地に誕生している。食を核にしながら、地域が抱える様々な問題の解決を目指す飲食店のことで、運営主体は特定非営利活動法人（NPO）や個人。働く女性の支援を目的に始まったが、高齢者が集う「共食」の場や地元食文化の発信基地になったりと、地域に一役買っている。

◇  
コミレスの開業支援にあたった「NPO研修・情報センター」代表理事、世古一穂さん

## 子育てや「共食」支援

### ニートへの役割も

上ある。そしてコミレスは、▽安心・安全な食の提供▽障害者の働く場づくり▽不登校の子どもたちの出口づくり▽高齢者の会食の場づくり——といった地域の課題解決の役割を担っている。各地のコミレスの代表例を紹介すると――。

▽浅めし食堂（青森市浅虫温

泉、写真）

子どもや高齢者の「個食」問題に対応。遊休農地

を借りて米や野菜を栽培し、地元の子どもたちと収穫、料理教室を開くなど食育の拠点になっ

ている。作成した地元産の食材を中心として作成したレシピ集

は5千部以上はけたという。

▽とらい（茨城県水戸市）

不登校、引き込みや脱ニート

に取り組む。スタッフは引きこ

もりなどで働けなかった若者。

現在、自立を目指す若者3人が

現在、自立を目指す若者3人が

## 国民生活金融公庫が予算説明会を開催

国民生活金融公庫は2月9日、全国生衛会館会議室で生活衛生資金貸付に関する予算案等の説明会を開いた＝写真＝。

説明会では、まず厚生労働省健康局生活衛生課の森信二・課長補佐が平成18年度生活衛生関係営業対策予算(案)について説明。予算額(案)は総額10億3,100万円で、平成17年度より1,900万円の増額となっており、このうち、全国生活衛生営業指導センター事業としての振興事業助成費は2億円(平成17年度同)。また、都道府県生活衛生営業指導センター事業としての生活衛生営業健康推進事業費として8,800万円(平成17年度5,500万円)。新規事業として、①高齢者や障害者に対する生活衛生関係サービスの円滑な提供を支援するため、生衛業地域生活支援モデル事業の実施②クリーニング包装材等リサイクル推進モデル事業の実施が盛り込まれていると説明。

次いで平成18年度国民生活金融公庫予算(案)

の概要等について、同公庫生活衛生企画部の本田一部長の挨拶に続

き山路和樹次長から次のとおり説明があった。

同公庫の平成18年度生活衛生資金貸付規模は2,000億円(平成17年度は2,200億円)。

貸付制度の主な改正は、以下のとおり。

▽一般貸付及び振興事業貸付＝独立開業資金にかかる勤務要件の特例措置の取扱期間の1年間延長▽特例貸付＝①環境対策関連貸付(防災・環境対策資金)の資金用途にアスベスト対策関連の資金等を追加②健康・福祉増進貸付の取扱期間の1年間延長③事業安定等貸付の取扱期間の1年間延長▽特別貸付＝①生活衛生改善貸付の特例措置の取扱期間の1年間延長②生活衛生セーフティネット貸付の取扱期間の1年間延長



### 各業種全国連合会の全国大会・総会開催予定表

平成18年度

業種	開催日	開催地	会場	大会・総会等の名称
料理	5月14日(日)	香港	香港コンベンションセンター	第94回全国料理業 香港大会
氷雪	5月中旬	熱海市	古屋旅館	平成17年度通常総会
興行	5月24日(水)	大津市	旅亭 紅葉	平成18年度全興連通常総会
食鳥肉	5月24日(水)	横浜市	ホテル ニューグランド	第35回全国食鳥肉販売業生活衛生同業組合連合会 神奈川全国大会
クリーニング	5月26日(金)	東京都	ホテルニューオータニ	第48回通常総会
旅館	6月6日(火)	東京都	赤坂プリンスホテル	第84回全旅連 全国大会
喫茶	6月6日(火)	桑名市	長島温泉ホテル花水木	第51回全喫飲連全国大会
飲食	6月7日(水)	長門市	ルネッサながと	第44回全飲連 全国山口県大会
食肉	6月22日(木)	鹿児島市	城山観光ホテル	第47回通常総会 鹿児島大会
麺類	6月28日(水)	名護市	万国津梁館	第72回全国麺類飲食業者 沖縄大会
理容	9月17日(日)	札幌市	未定	平成18年度各種表彰式典(第140臨時総会・同評議員会)
社交	10月16日(月)	新潟市	新潟市民芸術文化会館	全国社交飲食業代表者 新潟大会
美容	10月17日(火)	岩手県	アピオ(岩手産業文化センター)	第34回全日本美容技術選手権大会
浴場	10月23日(月)	神戸市	神戸ポートピアホテル	第48回全国公衆浴場業者 兵庫県大会
中華	10月24日(火)	東京都	浅草ビューホテル	第39回全国中華料理業 東京大会
すし	11月8日(水)	静岡市	静岡市グランシップ	第49回全国すし連 静岡大会
中央会	10月27日(金)	東京都	ホテルニューオータニ	生活衛生功労者表彰式(厚生労働大臣・中央会理事長表彰式)

# 平成16年度生衛関係営業経営実態調査の概要

平成17年10月に厚生労働省健康局がまとめた平成16年度生活衛生関係営業経営実態調査について、その概要をご紹介します。

生活衛生関係経営実態調査は、生活衛生関係営業の健全な育成及び衛生水準の確保とともに、将来の展望を明らかにするための基礎資料を得ることを目的として実施されており、毎年3業種を調査対象としています。

調査票の配布・回収は、(財)全国生活衛生営業指導センターに委託し、実施しています。また、各業の生活衛生同業組合連合会の協力により調査対象を抽出しています。

平成16年度では、飲食店営業（中華料理店）（682施設）、食肉販売業（693施設）、食鳥肉販売業（181施設）について調査を行いました。

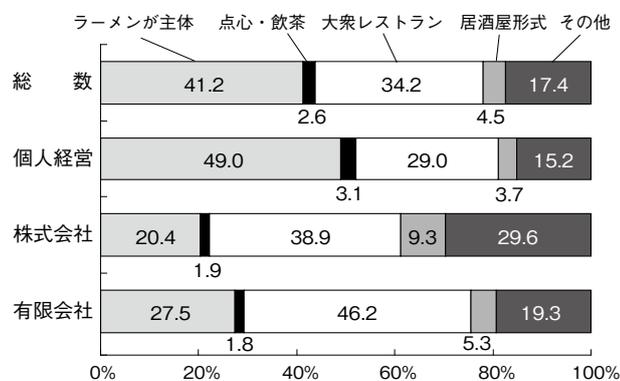
表1 経営主体別施設数の構成割合（%）

区分	中華料理店	食肉販売業	食鳥肉販売業
総数	100.0	100.0	100.0
個人経営	66.7	39.1	40.9
株式会社	7.9	26.7	37.6
有限会社	25.1	31.3	19.9
その他	0.3	2.9	1.7

## ○ 飲食店営業（中華料理店）について

中華料理店の経営主体をみると、個人経営が66.7%と最も高く、次いで有限会社25.1%、株式会社7.9%となっています。（表1）

図1 営業形態、経営主体別施設数の構成割合（%）



営業形態別に施設数の構成割合をみると、総数では、ラーメンが主体が、41.2%と最も高く

なっています。また、これを経営主体別にみると、個人経営では、ラーメンが主体が最も高く、株式会社、有限会社では、大衆レストランが最も高くなっています。（図1）

表2 経営者の年齢階級別施設数の構成割合（%）

区分	総数	個人経営	株式会社	有限会社
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
30歳未満	0.6	0.2	-	1.8
30~39歳	3.7	3.5	7.4	2.9
40~49歳	13.5	12.7	5.6	18.1
50~59歳	38.7	37.4	50.0	38.0
60~69歳	33.4	35.2	27.8	31.0
70歳以上	9.1	9.7	9.3	7.6
不詳	1.0	1.3	-	0.6

経営者の年齢階級について総数をみると、50代が38.7%と最も高く、次いで60代33.4%、40代13.5%となっています。また、個人経営をみると、60歳以上（60代+70歳以上）では、44.9%となっており、他の経営主体に比べ、高齢化の状況にあるといえます。（表2）

表3 経営上の問題点、今後の経営方針（複数回答）

経営上の問題点	今後の経営方針
客数の減少 (80.4%)	新メニューの開発 (59.1%)
客単価の減少 (46.3%)	顧客サービスの充実 (52.9%)
原材料費の上昇 (35.5%)	施設・設備の改装 (38.6%)
諸経費の上昇 (25.7%)	広告・宣伝等の強化 (32.8%)
立地条件の悪化 (24.3%)	営業時間の変更 (9.8%)

経営上の問題点では、客数の減少が80.4%と最も高く、次いで、客単価の減少が64.3%となっており、客に関する問題が1位、2位を占めています。（表3）

## ○ 食肉販売業について

食肉販売業の経営主体をみると、個人経営が39.1%と最も高く、次いで有限会社31.3%、株式会社26.7%となっています。（表1）

卸売・小売業別に施設数の構成割合をみると、どの経営主体でも卸・小売業の両方が、約半数を占めています。（図2）

図2 経営主体、卸売・小売業別施設数の構成割合(%)

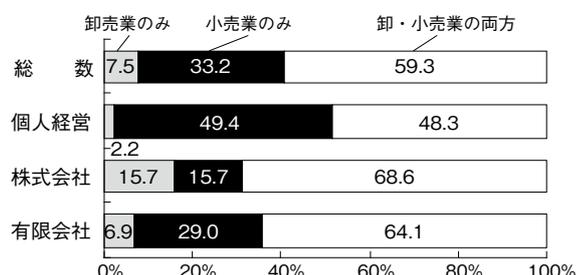


表4 経営者の年齢階級別施設数の構成割合(%)

区分	総数	個人経営	株式会社	有限会社
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
30歳未満	0.4	-	-	0.9
30~39歳	4.2	2.2	7.0	4.1
40~49歳	8.5	8.9	9.7	6.5
50~59歳	27.0	22.9	29.2	29.5
60~69歳	41.7	43.2	42.7	40.1
70歳以上	17.5	22.1	10.8	18.0
不詳	0.7	0.7	0.5	0.9

経営者の年齢階級について総数を見ると、総数では60代が41.7%と最も高くなっています。また、どの経営主体においても、60歳以上(60代+70歳以上)が半数以上を占めており、経営者は高齢化の状況にあるといえます。(表4)

表5 経営上の問題点、今後の経営方針(複数回答)

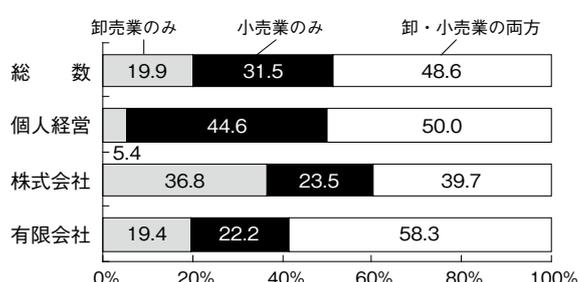
経営上の問題点	今後の経営方針
客数の減少(70.6%)	顧客サービスの充実(47.3%)
施設設備の老朽化(41.1%)	銘柄肉等品揃えの充実(39.0%)
諸経費の上昇(38.4%)	施設・設備の改装(36.5%)
立地条件の悪化(29.4%)	加工食品の販売・充実(34.2%)
後継者難(16.2%)	広告・宣伝等の強化(26.3%)

経営上の問題点では、客数の減少が70.6%と最も高く、次いで、施設設備の老朽化41.1%、諸経費の上昇38.4%となっています。(表5)

○ 食鳥肉販売業について

食鳥肉販売業の経営主体をみると、個人経営が40.9%と最も高く、次いで有限会社37.6%、株式会社19.9%となっています。(表1)

図3 経営主体、卸売・小売業別施設数の構成割合(%)



卸売・小売業別に施設数の構成割合をみると、総数では、卸・小売業の両方が48.6%と最も高くなっています。また、個人経営では他の経営主体と比べ、小売業のみが44.6%と高くなっています。(図3)

表6 経営者の年齢階級別施設数の構成割合(%)

区分	総数	個人経営	株式会社	有限会社
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
30歳未満	0.6	-	1.5	-
30~39歳	3.3	2.7	2.9	5.6
40~49歳	9.9	8.1	7.4	19.4
50~59歳	20.4	13.5	30.9	11.1
60~69歳	46.4	54.1	41.2	44.4
70歳以上	18.8	21.6	14.7	19.4
不詳	0.6	-	1.5	-

経営者の年齢階級について総数を見ると、60代が46.4%と最も高く、次いで50代20.4%、70歳以上18.8%となっています。また、どの経営主体においても、60歳以上(60代+70歳以上)が、半数以上を占めています。

なお、個人経営の60歳以上は、75.7%となっており、他の経営主体と比べ、高齢化が進んでいるといえます。(表6)

表7 経営上の問題点、今後の経営方針(複数回答)

経営上の問題点	今後の経営方針
客数の減少(75.7%)	顧客サービスの充実(47.0%)
諸経費の上昇(48.1%)	施設・設備の改装(38.7%)
施設設備の老朽化(47.0%)	銘柄肉等品揃えの充実(37.6%)
立地条件の悪化(22.1%)	加工食品の販売・充実(34.3%)
後継者難(18.2%)	広告・宣伝等の強化(22.1%)

経営上の問題点では、客数の減少が75.7%と最も高く、次いで、諸経費の上昇48.1%、施設設備の老朽化47.0%となっています。(表7)

## 生活衛生関係営業の景気動向等調査概要

国民生活金融公庫 生活衛生企画部 調査課 嶋根 吉彦

この調査は、国民生活金融公庫が財団法人全国生活衛生営業指導センターに委託して、生活衛生関係営業の景気動向や設備投資動向などを把握するため、四半期ごとに実施しているものです。今回は、平成17年10～12月期の調査結果の中から一部をご紹介します。

### ～マイナス水準ながら改善傾向が続く生活衛生関係営業の景況～

今期の「売上」「採算」「業況」の各DI (DI=「増加・黒字・好転」企業割合-「減少・赤字・悪化」企業割合) は、それぞれ▲28.0 (前期比0.3ポイント低下)、▲8.3 (同3.2ポイント上昇)、▲21.3 (同4.4ポイント上昇) となりました。「理容業」や季節変動要因のある「冰雪販売業」など、一部前期比でDIが低下した業種はありますが、10～12月期の水準を過去から遡ってみると上昇局面にあり、したがって、生活衛生関係営業の景況は、マイナス水準ながら引き続き改善傾向がみられます。

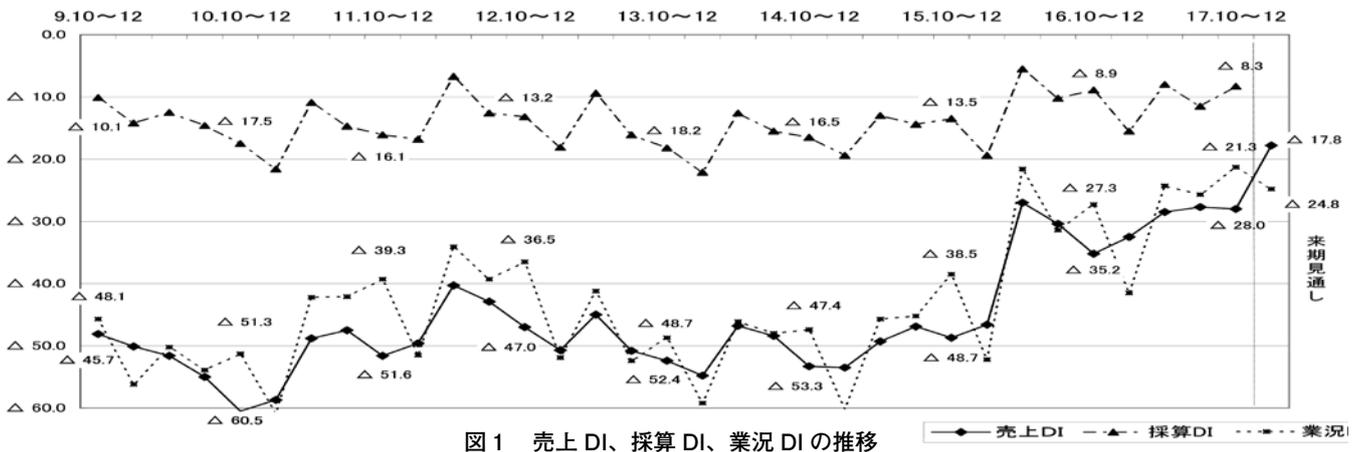


図1 売上DI、採算DI、業況DIの推移

業況DIを業種別にみると、「ホテル・旅館業」「食肉・食鳥肉販売業」「クリーニング業」「飲食業」「美容業」で、前期に比べ上昇しました。特に、衣替え需要があった「クリーニング業」で57.0ポイント上昇したほか、「食肉・食鳥肉販売業」20.8ポイント、「ホテル・旅館業」8.7ポイント、と大きく上昇しました。

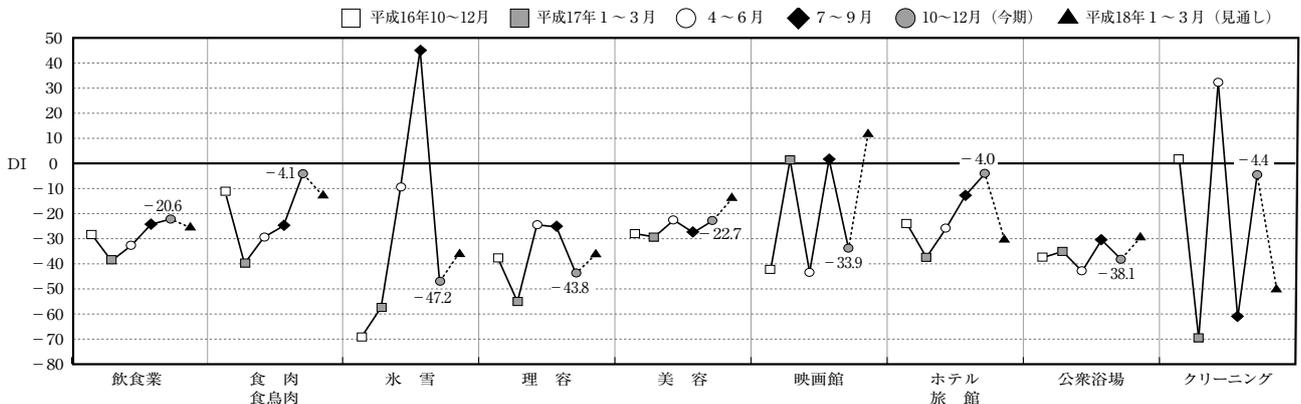


図2 業況DIの推移 (業種別)

利用客数DI (DI=前年同期比で利用客数が「増加」企業割合-「減少」企業割合) は、▲33.6と前期に比べて0.2ポイント上昇し、4期連続の上昇となりました。

また、客単価DI (DI=前年同期比で客単価が「上昇」企業割合-「低下」企業割合) も▲22.5と、前期と比べて2.4ポイント上昇し、利用客数DI同様4期連続の上昇となりました。

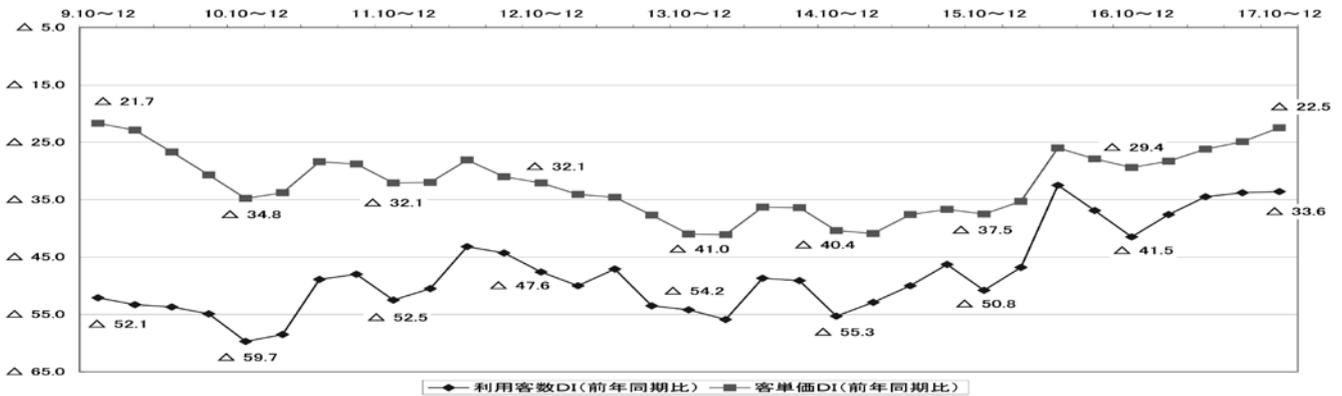


図3 利用客数 DI、単価 DI の推移

### 設備投資状況 ~引き続き若干の動きが見える生活衛生関係営業の設備投資~

今期に設備投資を行った企業の割合は13.6% (前年同期4.0ポイント上昇) となり、3期連続で前年同期を上回りました。10~12月期における設備投資の水準としては、平成8年10~12月期以降最も高い水準となっています。低水準が続いていた生活衛生関係営業の設備投資に、前期に引き続き若干の動きが見られます。

業種別にみると、「公衆浴場業」を除く各業種で前年同期を上回りました。特に「ホテル・旅館業」、「美容業」、「映画館」、「クリーニング業」が前年同期を大きく上回っています。

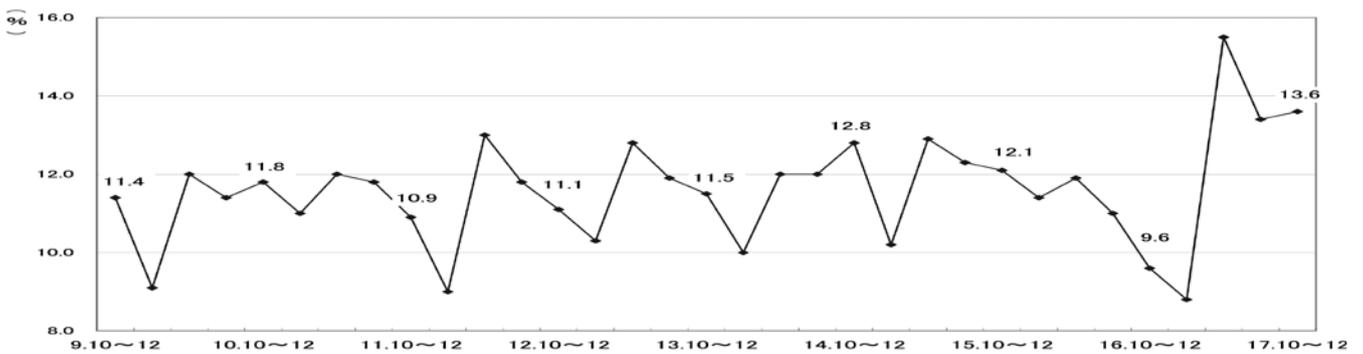


図4 設備投資実施割合の推移

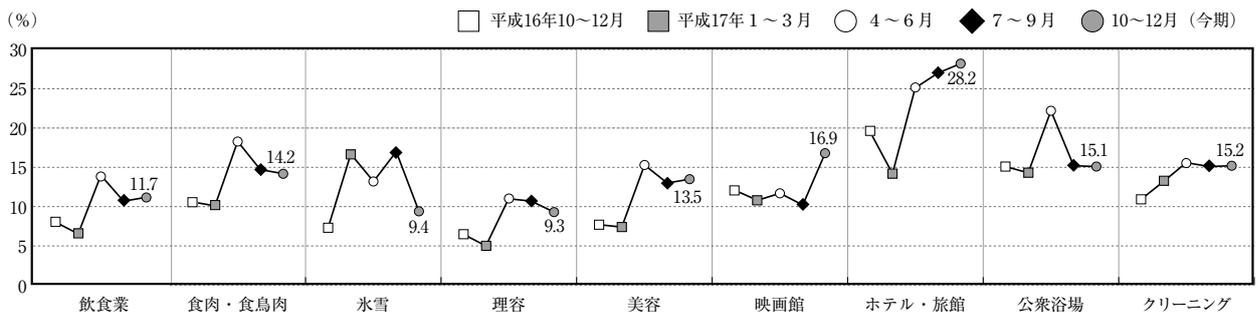


図5 設備投資実施割合の推移 (業種別)

# 狙われる高齢者 次々販売…見守りのネットワークを！

＜社団法人全国消費生活相談員協会 消費生活専門相談員 前野 春枝＞

## 次々販売とは

次々販売ってどんなこと、と思われるのではないのでしょうか。一人の消費者が訪問販売等で一度契約したことがきっかけで、次から次へと商品・サービスを勧められ契約することをいいます。

ひとつの販売会社が何回も訪問して商品を販売する場合もあれば、名簿が流れているのか次々と事業者が訪問し購入契約をさせます。このような状況を次々販売といいます。

## 高齢者が狙われる背景

昨年、認知症の方が複数の住宅リフォームを契約したことは記憶に新しいことですが、最近では高齢者の被害が増加傾向にあります。この背景には、高齢化が進む中で

・健康に対する不安、経済

的不安、住宅・設備等に対する不安に付け込む。

- ・これまでの常識だけでは新しい取引形態や取引内容の判断がしにくい。
- ・独り暮らしや高齢者のみの家庭の増加とともに高齢者は在宅していることが多い。

こと等が考えられます。

図1が示すように全体の相談は、20歳・30歳・40歳代が多くなっています。そして年代別に相談者と契約当事者を比較すると、30歳以下と70歳代は、契約当事者の割合が相談者を上回っています。しかし、40歳・50歳・60歳代は、家族や知人など周囲の人が契約当事者に代わって相談するケースが多くみられます。

70歳代以上で相談が多かった商品は、布団類・健康食品・浄水器・家庭用電気治療器具・新聞となっています。建物関連で

は修理サービス・屋根工事・建物清掃サービスです。

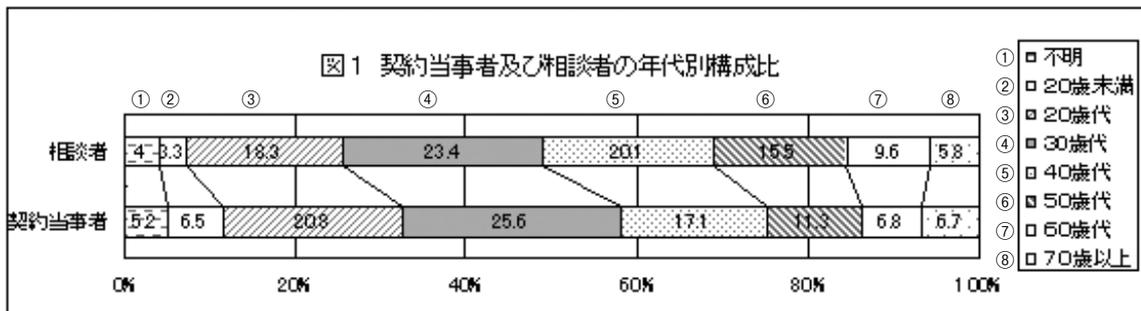
では、具体的にどのような相談が寄せられているのでしょうか。

### ＜事例1＞

ケアマネージャーからの相談です。

訪問介護を受けている一人暮らしの女性が、支払いができないと悩んでいる。羽毛布団や敷きマット他の請求書がきていた。本人の通帳をみせられ預金もなくなり、支払えないと言っている。押入れには未使用の商品があり何か手立てはないか。

契約当事者から話を聞いてみると、「1年位前布団の点検に来た業者が上がりこみ使



(国民生活センター 消費者年報2005年版より)

用している布団は湿っている、健康に悪い、と言われ契約した。その後も何度か来て話し相手をしてくれとてもいい人だった。押入れに湿気があるからスノコもあったほうがいい等、言われたような気がするがよく覚えていない。」とのことでした。そこで契約時の書面を探してもらいましたが、見当たりません。消費生活センターから信販会社に連絡し、書面を取り寄せてもらったところ一箇所の業者で3回、信販3社、あと2回は他社で信販1社の計5回にわたる契約でした。署名が本人ではないものもありました。契約当事者とのやり取りにケアマネージャーにも協力してもらい、消費生活センターが業者と交渉し、支払済の既払い金で合意解約になりました。

## ＜事例2＞

最近一人暮らしを始めた70歳の弟が、自宅に来た販売員から健康器具や健康食品を買い、現金で支払ったのに請求書がきたという。本人に話を聞いても理解していない。

契約当事者に話しを聞くと、「病院に通うより自宅に器具が

あって痛いところにあて、これ（健康食品）を飲んだほうがよい」と言われ現金で払ったと言います。書類を見ると、一部現金払いの領収書と、他にクレジットを組んでいました。そこで消費生活センターが、健康食品を薬と思い違いさせるような説明、売買契約書に記載の信販会社名とは違う信販会社との契約、1週間ごとに別の契約をさせていること等の問題点を挙げて販売会社と交渉し、健康器具と残っていた健康食品は返品することで解決しました。

## 信販会社の与信のあり方と加盟店管理

ここでの問題点は、一度契約すると再度業者が訪問し、親切心を装って勧誘することです。また契約した情報がなぜか他業者に知れることです。販売店が1社の信販会社と加盟店契約しているのではなく数社の信販会社と契約していることがあり、1社では多額の与信がされないことから複数の信販を利用する考えられます。相談者の多くは年金で生活しています。販売業者は、消費者が高額な契約を現金ではできないことから、クレジットを利用させることによって契約を結ばせています。

経済産業省は16年12月22日、日本クレジット産業協会、全国信販協会に「割賦購入あっせん業者における加盟店管理の強化・徹底について」要請しています。

## 見守りのネットワークを！

おかしい、困ったと思っても回りに相談する人がいない、家族に相談するのは躊躇することがあります。これからは更なる高齢化に伴い、地域での見守り、民生委員、介護支援者の方々の協力が大事となります。相談現場では当事者にも聞きますが、直接本人に聞いても書類の確認、申し出方法等については周りの方の協力が必要となることが多くあります。平成17年12月内閣府を中心として、関係省庁や地方自治体、関係福祉団体等で「高齢消費者見守りネットワーク連絡協議会」が発足し協議されています。地域においても高齢者が悪質事業者からの被害にあわないために、地域ぐるみで見守ることが大切ではないでしょうか。



# 特相員だより——街の知恵、地域の心



魅力ある組合づくりへ、1人でも多くの組合員をサポート

□広島県飲食業生活衛生同業組合・特相員□

藤竹 康雄

私は、広島市安佐南区で飲食店を30年間にわたり、営業しております。当初から組合活動に参加し、現在は広島県飲食業組合の生活衛生改善貸付審査担当副理事長を務めさせていただいております。

広島県内31名の特相員からあがってくる融資案件を、出来るだけ早く処理し、組合員に喜んでいただくために、その都度、審査員との調整を行ない、県本部で審査をさせていただいております。

地域からあがってくる案件は、地域の特相員がそれぞれの事情を一番掌握されており、信頼しながらできるだけご要望に応じられるよう心がけております。ただ、前年に比べ融資の申し込み件数が減ってきていることもあり、積極的な推薦と融資後の条件変更も可

能なことなど、申込者の立場に立った指導を、特相員にお願いしております。

また、本年度から始まる消費税法改正に関連した納税資金（消費税・所得税・事業税等）につきましても、振興事業貸付の申込対象としていただき、運転資金として利用できることとなり、研修会を開催するなど、特相員一丸となって取り組んでおります。

魅力のある組合組織として、生活衛生貸付制度を有効に活用する取り組みを、微力ではありますが今後とも続けたいと思っております。

さらには、これから新規開業される若い組合員さんが増えることを念じながら、団結の力を結集し、「継続は力」をモットーに、今後とも組合員の皆様のための融資のご相談に精一杯応え、1人でも多くの組合員のサポートをしていきたいと思っております。

生活衛生業の皆様へ

## お店の繁栄に「生活衛生融資」を……

くわしくは最寄の支店窓口または相談センターでご相談下さい。

相談センター：東京03(3270)4649、名古屋052(211)4649、大阪06(6536)4649

飲食店営業



食肉販売業



喫茶店営業



食鳥肉販売業



冰雪販売業



旅館業



浴場業



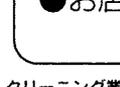
クリーニング業



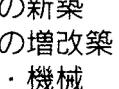
興行場営業



理容業



美容業



大きな明日へ いきいき融資

- お店の新築
- お店の増改築
- 設備・機械
- お店を賃借する場合の①入居保証金  
②敷金・権利金
- 店舗等の買取り
- 土地に要する資金
- 運転資金



大きな明日へ いきいき融資

**国民生活金融公庫**

ホームページアドレス(URL)  
<http://www.kokukin.go.jp/>

♠「ポリ包装自主回収」各地で普及講習会

クリーニング業界挙げて取り組んでいる「ポリ包装資材の自主回収」。全ク連は2月から3月にかけて、全国4か所で普及講習会を開催しました。

昨年よりクリーニング業界はじめ機材商、学識経験者、消費者団体代表者らで「ポリ包装資材自主回収システム検討委員会」をつくり、クリーニング業界がポリ包装資材の自主回収を行う上での問題点や方向性を話し合ってきました。

講習会では、委員会の報告と、ポリ包装に係わる各種データ、ポリ包装資材回収の小規模実証実験の結果なども報告されました。

■開催日と場所

▽2月17日（金）名古屋市・東京第一ホテル  
 ▽2月25日（土）大阪市・ホテルグランヴィア大阪  
 ▽2月26日（日）福岡市・博多シティホテル  
 ▽3月2日（木）東京都クリーニング生活衛生同業組合・大会議室  
<http://www.zenkuren.or.jp/>

◆引越し紹介窓口に

愛知県クリーニング生活衛生同業組合（古谷一理事長）は、引越し業務で日本通運（株）と提携しました。

各組合員店舗に専用のフリーダイヤル＝写真＝を掲示し、引越しを控えた人に日通を紹介。この紹介で日通に見積もりを依頼した客には500円分のクリーニングギフト券を贈り、引越し輸送が成立した場合には日通が愛知県組

合に手数料を支払うというもの。

日通と愛知県組合は昨年開催された愛知万博で関係を深め、「クリーニング店は地域の事情に明るく、引越し情報などもいち早くキャッチできるのでは」と、今回の提携に日通側も期待を寄せています。

<http://www.zenkuren.or.jp/>



♣そば・うどん“風景写真”



全国麺類生活衛生同業組合連合会は「“そば・うどん”のある風景写真コンテスト」の第3回入賞者を発表しました。

全国麺類生活衛生同業組合連合会は「“そば・うどん”のある風景

最優秀賞には石角尚義（香川県）の「寒稽古を終えて」＝写真＝が選ばれました。その他の受賞者は次のとおりです（敬称略）。

▽優秀賞＝「そばの種まき」久澄守恒（宮城県）、「力をあわせて」太田美香（兵庫県）、「噂の極太うどん」野沢清久（東京都）、「卵、落下中！」牧野友美（東京都）、「いただきます」あかねパパ（三重県）▽審査員特別賞＝「何とか、できたネ」染谷壮平（東京都）

<http://www.nichimen.or.jp/>

# 秋田県生活衛生営業指導センター

秋田市千秋矢留町1-19  
秋田県環衛会館1階  
理事長 中島 康介氏  
専務理事兼事務局長  
渡辺 正幸氏  
職員数 5人  
(うち経営指導員3人)  
電話 018-835-0020  
URL <http://www.seiei.or.jp/akita/>



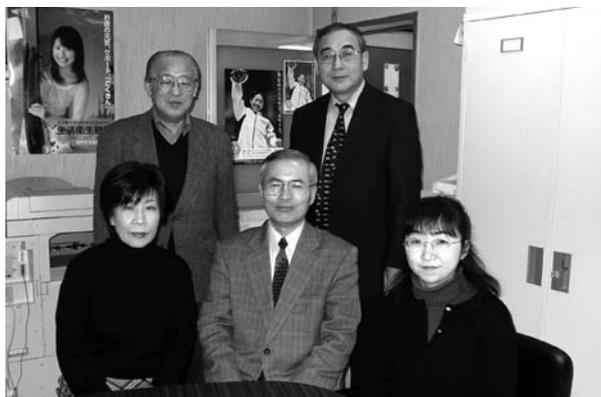
中島 康介理事長

だけで計3,214人と全組合員の過半数を占めており、その増減が全体に影響していると、佐藤勲経営指導員は分析する。

その言葉通り、県内の理容、美容店舗数は計5,947軒（厚生労働省の衛生行政業務報告例＝平成15年3月31日）で、人口10万人あたりの店舗数では全国一多いが、その半数近くが組合未加入者というのが現実だ。

「組合に入るメリットを目に見える形で示さなければ…」と渡辺正幸専務理事は言う。組合員増の「決め手」の一つとして、指導センターが地道に取り組んでいるのが、「消費者に信頼される組合員店舗」づくり。「店は人に集まる。人を売る商売という認識が大事。持ち味を生かすのが経営努力」というのが中島康介理事長の持論でもある。

今年1月1日発行の会報「生衛あきた」第102号でも、中島理事長は「(前略) 商売はそれぞれの持ち味を生かしていくことが肝心であり、生かしていくことが出来なければ末永くは



指導センターのみなさん（前列中央が渡辺専務理事、その左右が職員の古戸幸子さんと柴田淳子さん、後列左が鈴木昭政経営指導員、同右が佐藤勲経営指導員）

続かないものだと考えております。この自分の持ち味を生かしていくということが、とりもなおさず経営努力ということになるのではないのでしょうか（後略）」と述べている。

### ■地方連絡協議会で異業種交流

地域密着型の異業種交流などで徐々に効果をあげているのが、13業種の組合を網羅した地方連絡協議会だ。県内には秋田県生活衛生関係営業秋田地方連絡協議会など7地方連絡協議会（ほかに北秋田、能代山本、由利、大曲、横手平鹿、湯沢雄勝地区）があり、各地区ごとに、毎年7月ごろに総会を開催して年度計画などを決め、10月から翌年2月ごろまでの間に、異業種合同の研修会や講演会、意見発表会などを行っている。

秋田地方連絡協議会を例にとると、今年度の研修会は、2月13日に指導センターと共催で秋田市内のレストランで開催し

秋田県生活衛生営業指導センター（以下、指導センターと表記）が入居している秋田県環衛会館は、JR秋田駅から徒歩15分の中心街にある。道路を隔てて国民生活金融公庫秋田支店、徒歩1分のところに秋田中央警察署。竿灯まつり会場の竿灯大通りや商店街の通町も近い。

この環衛会館には、指導センターのほかに、県下の13生活衛生同業組合のうち、興行と中華料理以外の理容、美容、クリーニング、公衆浴場、旅館ホテル、鮎商、食肉、麺類飲食、飲食業、社交飲食業、喫茶飲食の11組合が事務所を構えており「連絡など、何かにつけて便利」（鈴木昭政経営指導員）と、地の利がよいのが特徴だ。

### ■組合員の過半数が理・美容店

13業種の組合員総数は5,265人（平成17年3月31日現在）。秋田県でも他県同様、組合員数は減少傾向にあり、昭和56年の8,025人と比べると3,000人近くも減っている。秋田の場合、理容（1,725人）と美容（1,489人）

## 「信頼される組合員店舗づくり」地道に

た。「こうすればあなたの店はもっと繁盛する！～人気店の知恵と工夫～」というテーマで、株式会社日本ヒューマン経営研究社代表取締役の大塚徹さんが講演し、参加者の共感を呼んだ。

また、指導センターと地方連絡協議会は、8年前から行政とタイアップした「生衛業まちおこし推進事業」に取り組んでいる。生活衛生関係業者は地域住民の日常生活に深い関わりを持っていることから、各地域ごとに消費者を対象に「生衛業への意見、要望のアンケート調査」を行うとともに、市町村や商工会議所・商工会・消費者団体などの関係者らと意見交換会を行い、「地域まちおこし」の一助にしようというものだ。

平成10年度には本荘と大曲の2地区で実施、次いで大曲（11年度）、能代・山本（12年度）、横手・平鹿（13年度）、鷹巣・阿仁（14年度）、秋田・河辺（15年度）、男鹿・南秋（16年度）、湯沢・雄勝（17年度）の各地区で行った。

### ■店を選ぶ1位「駐車場あり」

アンケートは、生衛業の13業種別に消費者が店舗を選ぶ場合の重視項目15（駐車場がある、店舗が広く大きい、店舗がきれい、品ぞろいメニューが多い、品質・技術がよい、新しいものがある、価格が安い、衛生

管理がよい、接客態度がよい、遅くまで営業する、何となく楽しい店、有名店・老舗である、自宅・勤務地に近い、他の用事も足せるから、その他）をあげて選んでもらった。

最終年度の湯沢・雄勝地区の結果は、まだまとまっていないが、初年度から昨年度までの7年間の調査結果は「生衛あきた第102号」に掲載されている。

アンケート依頼者数は老若男女合わせて3,401人で回答者数は2,298人、回答率67.6%。地区別、業種別、年齢別等によって微妙に違うが、全体の第1位は「駐車場がある」が16.9%、第2位が「接客態度がよい」の13.4%、第3位は「店舗がきれい」の13.1%だった。

さらに、指導センターと各地方連絡協議会は、「まだ、お客様が気楽に意見や苦情をいえる場が少ない」として、この2月上旬には、「お客様のご意見は当店の応援団」、「信頼・安心・いいお店 当店は生活衛生同業組合加盟店です」、「事務局やセンターで苦情やご意見を承っております」などと大書したA4判のパフレット3万枚と名刺判（両面印刷）10万枚を作り、各生活衛生同業組合支部長に発送した。パフレットは各店舗に5、6枚ずつ、名刺判は各100枚ぐらいつづ置いて、「お客様との交流の一助にした」（鈴木経営指導員）と期待



指導センターが作成した生活衛生同業組合加盟店 PR 用のパンフレットを込める。

### ■2全国大会を機に広く PR へ

秋田市では今年6月、全国バーテンドー協会主催の全国競技大会が開かれる。また、秋田国体開催年の来年6月には、喫茶飲食（5日）、麺類飲食（13日）の各生活衛生同業組合の全国大会が開かれる。

今後の抱負について、渡辺専務は「これら各種全国大会の成功に向け、指導センター、地方連絡協議会一丸となって頑張る。この機会に、指導センターの役割、意義を広く県民にPRしていきたい。行政と組合との橋渡しなどを通じ、消費者を含めた地域活性化、ひいては全体の活性化を図りたい」と語ってくれた。



昨年7月31日、飲食・社交・喫茶の3組合が実施したチャリティー・ビールまつり

## 年に一度神々が集う出雲の国へ



松江城の周りを流れる堀川を船で遊覧

陰暦の10月は神無月というが、出雲の国では神在月（かみありつき）という。全国の神々が出雲の国に集まるとされているためだが、このとき、出雲大社は神々をお迎えする神事「神迎祭」<sup>かみむかえまつり</sup>を仕える。夕刻、全国から集まった出雲大社の信徒たちが稲佐の浜に集まり、その中で大社の神官が海から来られる神々を迎え、

大社へ案内する。

### ぶらり旅・ きまま旅〈6〉

旅行ジャーナリスト  
佐々木 いつか

この祭り  
は、現代の賑やかな祭りとは異なる。肅々と神々をお迎えし、出雲に滞在中のお世話をさせていただく、という元始的な儀式の色が濃い。祭りといえは夜店や山車を連想してしまう現代人が忘れていた祭りの精神

を教えらるる思いがする数少ない祭りの一つだろう。出雲大社の最寄駅の電鉄出雲市駅から、松江へ行く一畑電車が出ている。途中、電車の車窓から宍道湖を望み、のんびりと旅気分にはたりながら松江しんじ湖温泉駅へ。松江市は城下町で、松江城を囲むように堀川が流れ、城から堀川を渡ったところに武家屋敷の一部が今も残されている。堀川を船で遊覧すると、城の下に広がる杜を左手に眺めながら右手に武家屋敷が建つ一角を望むことができる。その武家屋敷の一つに小泉八雲こと、パトリック・ラフカディオ・ハーンの旧居がある。八雲は、明治23年に松江に来て尋常中学校と師範学校の英語教師を務め、後に士族の娘と結婚する。結婚後、かねてから武家屋敷で暮らしたいと願っていたため、旧松江藩士根岸家の持ち家が空き家になっていたために借り

たという。明治24年に熊本へ発つまでそこに住み、『雪女』や『耳なし芳一』などの怪談を執筆。現在、旧居は当時のまま残され、座敷から望む庭の中に八雲の世界が垣間見えるような思いがする。小泉は妻の家の姓だが、八雲は「八雲立つ出雲——」という和歌にちなんでいると言われている。八雲は、来日して最初の赴任地である松江を名に残したかったのだろう。また、日本海に沈む夕日が美しい日御碕へも旅をした記録もあり、日没後の空に八雲立つ光景を目にしたのかもしれない。晴れていた空がにわかにくる重なる雲に覆われる様に、八雲も感動したに違いない。松江は宍道湖の魚が有名だが、茶どころでもあり、おいしい和菓子がある。観光の途中で「松江 月ヶ瀬」に立ち寄り一服するのもいいだろう。

このところ、毎日の食事を日記のようにノートに記録している。メニューを書きとめているだけだが、その時の気分や体調などまで思い出されて、なかなか面白い。

最近、自分の毎日の食事を記録し、公開しているホームページやブログが目につく。たとえば、イラストレーターのごぐれひでこさんは、働く女性に人気のサイト「カフェグロープ・ドットコム」で、「ごはん日記」を公開している。

料理好きで知られるごぐれさんは毎日実によく料理を作る。時には夫が作った野菜を素材に見事な料理を食卓に並べる。

「こんなに毎日食べたなら、太らないかなあ」などと思いつつ見ながら作るの楽しいし、時には「まねして作る

### 最近フード事情



うか」という気になる。また、かつて私の知人は妻を病気で亡くした後、息子2人のために毎日作った弁当を写真とコメントで公開。苦勞しつつも、料理の腕を少しずつ上げていったことが見てとれた。

### 楽しく、便利な「食事日記」

ほかにも一人暮らしの大学生の食生活やサラリーマンの食事を記録したものもあり、なかなか多彩だ。私が他人の料理の記録が面白いと思っただけでなく、女優の故沢村貞子さんは、女優の故沢村貞子さんの著作だった。「わたしの献立日記」という本には毎日食べた献立が細かく書かれていた。食べ物についての表現が豊かなのも印象的だ。

かつて沢村さんに会ったときにこの本が話題になったが、沢村さんは「このように細かく記録しておけば、献立を考えるのが面倒くさくなったときに、ぱらぱらみて料理を探せばいいから便利」と言っていた。つまり料理本の代わりになるということだ。その言葉をふと思いついて、自分自身も始めた。

文字だけで記録するもよし、写真をとるもよし。あとでじっくり眺めると、栄養のバランスや料理の組み合わせを考えるいい機会になるし、その時のことも思い出す。自分の食生活を見直すためにも、こんな日記を試してみてもいい。

(ジャーナリスト 山元彩)

## 小さなクロスワードパズル

(模様付きの枠に入る文字を並べ替えて言葉を作りましょう)  
ヒント：3・4月にちなんだ植物です

1	2		3	4
5			6	
		7		
8	9			
	10			

(答えは24ページに)

#### 【たてのかぎ】

1. 書籍やCDの〇〇〇〇版。
2. 腐っても〇〇。
3. ひとつぶ〇〇〇、ふたこぶ〇〇〇。
4. 「篝火草」とも呼ばれる春の花。
7. 磨り減ること。
9. 王様の耳は〇〇の耳。

#### 【よこのかぎ】

1. 軽い準備運動。
5. 〇〇諾々。
6. 〇〇八拾壺。
7. 一色ではありません。
8. 眼球の中央に。
10. 違法行為に課されることも。

## 季節の うつろい

暖かな陽気に誘われ、ほころびはじめた桜（大阪市北区の南天満公園で） ▶



(財)全国生活衛生営業指導センター賛助会員  
(50音順、3月25日現在)

アメリカンファミリー生命保険会社  
〒163-0237 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル37階

AIU 保険会社  
〒130-8560 東京都墨田区錦糸1-2-4 AIGタワー

株式会社ダイワサービス  
〒550-0011 大阪市西区阿波座1-5-16 大和ビル

株式会社トーコン・システムサービス  
〒113-0033 東京都文京区本郷1-18-6 トーコンビル

株式会社ユニバーサルファミリー  
〒164-0012 東京都中野区本町4-45-9 ユニバーサルビル

芝サン陽印刷株式会社  
〒104-0033 東京都中央区新川1-22-13

社団法人日本サウナ協会  
〒102-0085 東京都千代田区六番町1 番町一番館ビル2階

菅原印刷株式会社  
〒111-0051 東京都台東区蔵前3-15-1

第一生命保険相互会社  
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-13-1

タカラベルmont株式会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂7-1-19 タカラ椅子会館内

中央法規出版株式会社  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-4

日本ハム株式会社  
〒108-0074 東京都港区高輪3-25-23 京急第二ビル

日本標識株式会社  
〒143-0011 東京都大田区大森本町2-4-9

◇ お詫び・訂正 本誌1月号特集「お店探訪・ステーキ レストラン三田屋本店」9ページの写真説明のなかで、  
◇ 「店長の中谷一俊さん」とあるのは「店長の古谷一俊  
◇ さん」の間違いでした。お詫びして訂正します。 ◇

(答え=ライラック)

### 編集後記

♪ 今号の特集では「震災から再起」した店を探訪した。福岡県西方沖、阪神・淡路、新潟県中越の大地震で被災した3店舗だ。被災したもの、お客様や周囲の支援、経営者やスタッフたちの情熱が再起を果たした。

新潟県中越地震の被災旅館「和泉屋」取材した。1泊して女将の見送りをうけ、振り返ったバスの窓から、雪景色の中で「和泉屋」の窓々の温かな灯が見えた。途中、いまだに営業再開できず、窓を閉め切ったままの旅館も見た。外観だけからは被災の爪痕は確認できない。再開できない事情はいろいろあるだろうが、2つの旅館のその“落差”に複雑な気持ちを抱いて帰途についた。(井)

## 生衛ジャーナル

3月号 平成18年3月発行 通巻364号 定価420円(本体価格400円)

■編集・発行 財団法人 全国生活衛生営業指導センター 編集長 小宮山 健彦 編集主幹 萩原 壽  
〒105-0004 東京都港区新橋6-8-2 (全国生衛会館2階) TEL 03(5777)0341 FAX 03(5777)0342

■制作 菅原印刷株式会社  
〒111-0051 東京都台東区蔵前3-15-1 エスピービル TEL 03(5687)2211 FAX 03(5687)2310  
http://www.sugawara-p.co.jp E-mail:journal@sugawara-p.co.jp

本誌に掲載した論文などで、意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りします。

オカピから  
ありがとう。

暮らしのさまざまな場面で  
お役に立っている宝くじの収益金。  
たとえば近年では、  
緑いっぱいの公園施設にオカピ舎を作りました。  
これからも、大当たりの夢のお隣りで、  
優しい営みを続けていきます。

宝くじの収益金は、  
身近な街づくりに役立っています。

宝くじ

財団法人 日本宝くじ協会

当せんはしっかり調べて、しっかり換金。

<http://www.takarakuji.nippon-net.ne.jp>